

IKAROS

出航

帰還

HAYABUSA

日本天文学会公開講演会

宇宙の謎に挑む

最先端の科学が解き明かす宇宙の姿

SUBARU

深宇宙

日時 平成22年 9月25日(土)
13:00~16:00(開場12:00)場所 北國新聞 赤羽ホール
石川県金沢市南町2番1号 TEL(076)260-3555

対象 中高生・大学生・一般

入場無料
先着順
予約不要

★家 正則 (国立天文台)

「すばる」で見る宇宙の一番星

★川口 淳一郎 (宇宙科学研究所)

はやぶさとイカロス：
最先端の宇宙探査技術

★村上 敏夫 (金沢大学)

ガンマ線バーストって何なんけ？

主催：日本天文学会

後援：金沢大学、金沢大学附属高等学校
石川県教育委員会、金沢市教育委員会

協力：石川県高校理化部会

連絡先：金沢大学 宇宙物理研究室 (TEL 076-264-6072)



宇宙の謎に挑む

最先端の科学が解き明かす宇宙の姿

2010年の日本天文学会秋季年会が金沢大学で開催されます。それに合わせて一般のみなさまにも天文学に触れていただけるよう、公開講演会を開催することになりました。約60億キロの旅路を経て地球に帰還した「はやぶさ探査機」のマネージャーで、今年打ち上げられた太陽光帆船「イカロス」を主導している川口淳一郎先生（宇宙研）、世界最大のすばる望遠鏡プロジェクトを指揮する家正則先生（国立天文台）をお招きし、プロジェクトの最新成果について講演していただきます。また、金沢大学で開発した観測装置がイカロス探査機に搭載されて活躍していますので、村上敏夫先生（金沢大学）に宇宙最大の爆発である「ガンマ線バースト」について講演していただきます。最先端の科学で見えてきた宇宙の姿をお楽しみください。

川口 淳一郎 (宇宙科学研究所)

はやぶさとイカロス 最先端の宇宙探査技術

今年の6月に「はやぶさ探査機」が約60億キロの旅路から帰還しました。我々は小惑星イトカワの詳細な写真を撮影し、「はやぶさ」を着陸させることに成功しました。イトカワのサンプル（砂粒）を採取した可能性もあります。

また、はやぶさの帰還と時を同じくして、我々は「イカロス」という宇宙ヨットを飛ばすことに成功しました。20メートルの帆を広げ、太陽光の圧力を利用して進みます。

これら2機の探査機には、これからの宇宙探査を支えるたくさんの技術が詰まっています。最新の観測結果と宇宙探査技術について紹介します。

家 正則 (国立天文台)

すばるで見る宇宙の一番星

私たちはハワイ島に建設したすばる望遠鏡でギネス記録となる129億光年かなたの銀河を発見しました。遠くをみることは昔を見ること。世界をリードする私たちの「宇宙考古学」研究の意味をお話します。二つ目の話題は、すばる望遠鏡の視力を10倍に改善する超ハイテク技術「レーザーガイド補償光学」です。空気のゆらぎによるボケを直すこの新技術は医療への応用などにも期待されています。最後の話題は直径30mの超大型望遠鏡計画。2019年頃の完成を目指しています。講演は画像やビデオを軸にわかりやすく紹介しますのでお楽しみ下さい。

村上 敏夫 (金沢大学)

ガンマ線バーストって何なんけ？

ガンマ線バーストと呼ばれる現象を知っていますか？宇宙が始まった時の爆発（ビッグバン）が宇宙で最大の爆発ですが、それに次ぐ大きな爆発はガンマ線バーストです。ガンマ線バーストの出すエネルギーは、良く知られた超新星の爆発（スーパーノバ）よりも一桁も大きな爆発です。とても明るいので、遠くの爆発でも良く見える。宇宙の果てを研究するにはもってこいの光源です。しかし、このように激しい爆発をする理由が分かりません。爆発の時にブラックホールを作るらしいとの意見もあります。金沢大学では爆発のメカニズムの解明を目指して、イカロス衛星に検出器を載せました。今はガンマ線バーストを観測しながら、金星に向かって航行しています。ガンマ線バーストや野心的な検出器の紹介をします。

● 会場へのアクセス

J R 金沢駅東口より

香林坊経由の路線バス（複数あり）／約10分
香林坊バス停で下車、徒歩約3分

駐車場は限られていますので、公共交通機関をご利用ください。



北国新聞 赤羽ホール

〒920-0919 石川県金沢市南町2番1号
<http://www.akabane-hall.jp/>